

科目コード	R24145	科目名	一般臨床医学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	土井 謙司						
授業の概要	内科学を中心とした科目を修得する。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						-
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						-
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						-
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						-
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						-
2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	主要な内科系疾患の症候学、診断学、治療学について理解し、リハビリテーションの実践に必要な知識と思考方法を学習する。						
履修上の注意事項	原則は教科書、スライド・プリントを使用した講義形式とする。 適時、小テストを実施する。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	内科学 総論				次回授業の予習（60分）	
	2	内科 症候学				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	3	呼吸器 総論				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	4	呼吸器 各論1				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	5	呼吸器 各論2				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	6	呼吸器 各論3				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	7	呼吸器 各論4				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	8	呼吸器 各論5				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	9	循環器 総論				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	10	循環器 各論1				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	11	循環器 各論2				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	12	循環器 各論3				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	13	循環器 各論4				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
	14	循環器 各論5				授業の復習と次回授業の予習（60分）	
15	呼吸器 循環器 まとめ				授業の復習（60分）		
成績評価方法	期末試験 100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	なるほどなっとく！内科学（改訂3版）・浅野 嘉延 他（南山堂）					9784525207236	
参考書	標準理学療法学作業療法学「内科学」 前田 眞治 他（医学書院）					9784260017077	
教員からのメッセージ	実地診療の把握および国家試験対策を基本に授業を進めていきます。疑問点を残さない様にして、しっかり勉強してください。						
教員との連絡方法							
実務経験のある教員	内科で診療している医師が実務経験を踏まえて講義を行います。						